

令和8年度 収支見込みについて

1. 収益改善・費用削減に向けた取組

令和7年度決算における厳しい財務状況をふまえ、収入増の取組を強化するとともに、費用削減にも引き続き取り組む。

(1) 収入確保の取組(令和7年度比 +5.6億円～)

①診療体制強化:人員配置変更等

- ・新生児回復室入院医療管理料、総合周産期特定集中治療室管理料等 (＋0.3億円～)
- ・メディカルスリムアップ外来(肥満症外来) (＋0.2億円～) 他

②診療報酬改定対応:

- ・DPC、急性期総合体制加算等、病院機能の加算等 (＋3.0億円～)
- ・物価対応料等 (＋2.0億円～) 他

③効率化・適正化:

- ・入院期間の適正管理、加算の取り漏れ防止と適正請求の徹底

④患者利便性向上による患者数増:

- ・入院時サポート体制の充実と療養環境改善
- ・健康診断の二次検診受け入れに向けたWEB予約導入 等

(2) 費用削減の取組(令和7年度比 ▲1.4億円)

- ・委託費等の圧縮(内製化検討等) (▲0.7億円)
- ・診療材料費・薬品費の削減(価格交渉等) (▲0.3億円)
- ・DX導入による業務効率化(時間外削減等) (▲0.4億円)

(3) その他の取組

- ・積極的な広報活動の展開による集患(他院訪問、公開講座実施、HPの充実等) 等

2. 実績データ(令和8年6月末時点)

令和8年6月の診療報酬改定により、入院単価は75,500円に上昇した。また、病床稼働率は令和7年度実績の74.8%に対して、令和8年6月時点において約80%(速報値)となっており、入院患者数が増加している状況にある。

<参考>6月末実績:

入院患者数:318人/日(前年比+30.7人)、外来患者:523人/日(前年比▲5.7人)

入院単価:75,500円(前年同月比+2,854円)、外来単価:23,009円(前年同月比▲702円)

※診療報酬改定後6月単月暫定単価

3. 令和8年度収支見込み

令和8年度の診療報酬改定による単価増とともに、収益改善・費用削減に向けたさまざまな取組を実施し、令和7年度決算に対して収支改善を見込む。また、集患に向けた取り組みを積極的に進めていることから、さらなる収益確保を目指す。